

労働災害の発生状況（全業種）

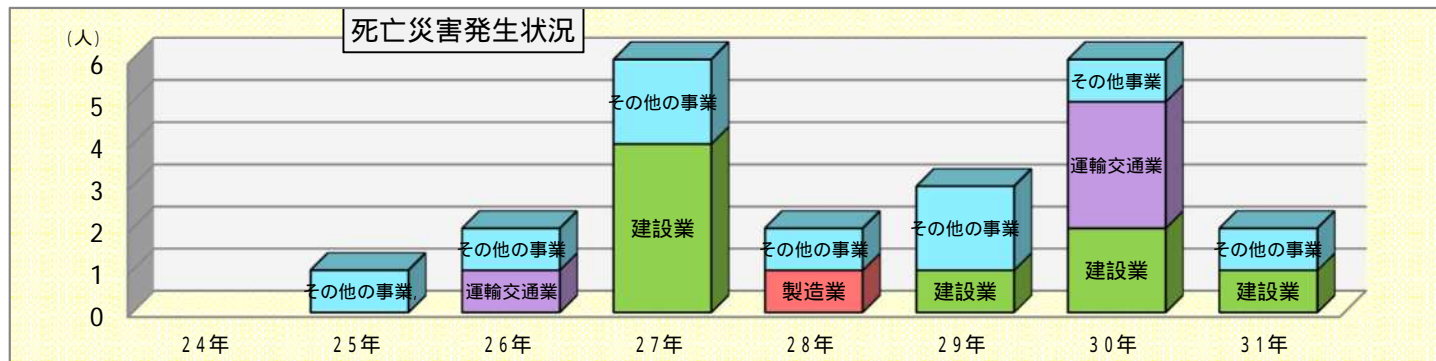
死亡災害の撲滅、業種の災害特性に応じた対策の強化

（労働者死傷病報告による統計値）



第13次労働災害防止計画（3年度）
推進中

労働災害の発生状況



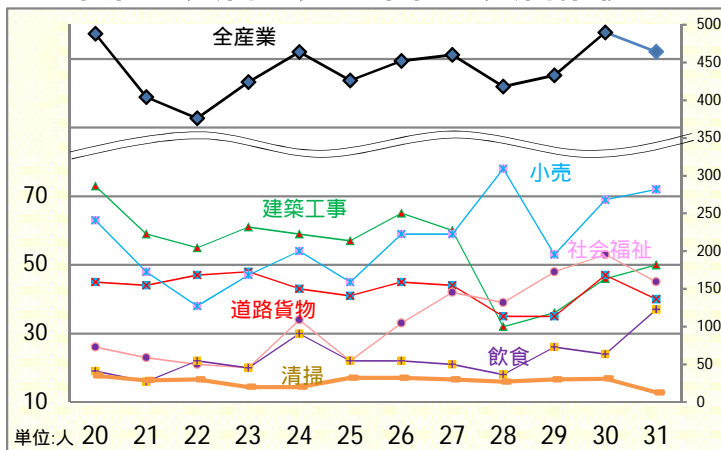
平成31年、令和元年の死亡災害の詳細

発生日	業種 (職種)	年齢	事故の型	発生状況
		経験	起因物	
令和元年 5月	土木工事業 (作業員)	20歳代	墜落、転落	橋脚の改修工事において、吊り足場の作業床（SKパネル）の撤去作業をしている際に、作業床から4.5m下の河川に墜落したのち溺死した。
		5年以上 10年未満	足場	
令和元年 8月	小売業 (配達員)	60歳代	交通事故 (道路)	新聞配達のため自転車を運転していた際に、乗用車と衝突した。
		1年以上 5年未満	乗用車	

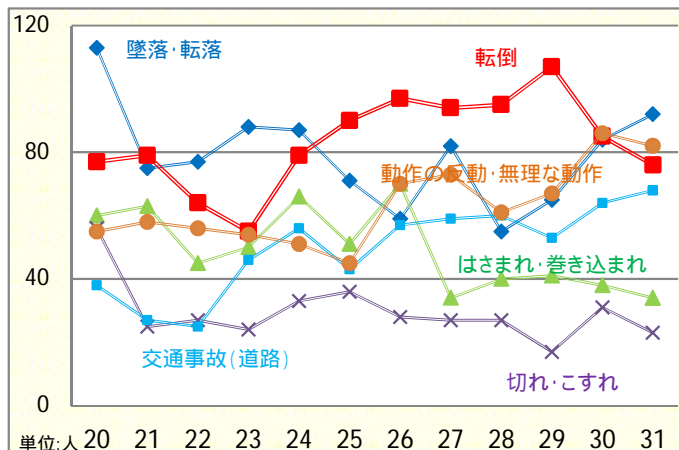
平成31年、令和元年の休業見込み1年以上の災害事例

発生日	業種 (職種)	年齢	事故の型	発生状況
		経験	起因物	
平成31年 1月	旅館 (事務員)	50歳代	転倒	ロビーで備品の補充作業中に足を滑らせ転倒した。
		1年未満	通路	
平成31年 2月	一般診療所 (作業員)	40歳代	動作の反動、 無理な動作	器具の清掃、洗浄中に指の靭帯を痛めた。
		1年以上 5年未満	手工具	
平成31年 3月	ハイヤー・タクシー業 (乗務員)	70歳代	交通事故 (道路)	タクシー乗り場に向かう際に右折しようとしたところ、石壁に衝突した。
		35年以上	起因物なし	
令和元年 8月	ビルメンテナンス業 (作業員)	40歳代	墜落、転落	窓ガラス清掃するため、ロープのセッティングをしている際に屋上パラペットから墜落した。
		20年以上 25年未満	建築物、構築物	

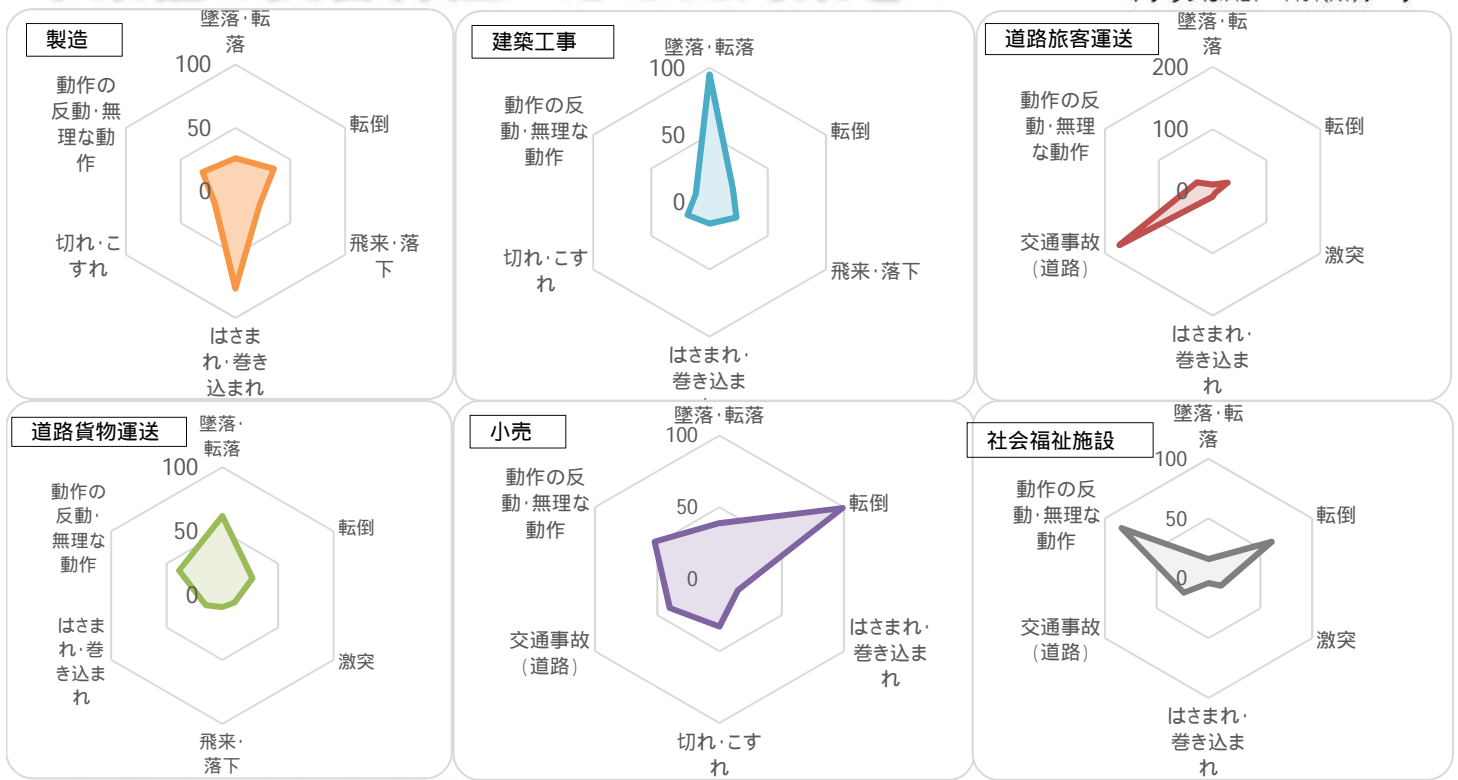
<管内で災害が多い業種の災害推移>



<事故の型別の発生推移>



◇業種の災害特性に応じた対策を！



◇管内における“最重点課題”

建設業 墜落災害防止の強化（死亡災害撲滅）

建設業における墜落災害の多い作業、場所の対策強化

脚立等 足場 屋根、梁

脚立、足場等の安全対策を進めるには？

詳しくはこちら →

陸上貨物運送業 荷役ガイドラインに基づく対策の強化

荷役作業時における事故が目立つ

荷台、階段からの墜落・転落 通路、作業床での転倒

荷役作業時の安全対策を進めるためには？

詳しくはこちら →

全業種（転倒災害防止） STOP! 転倒災害 プロジェクト

転倒災害防止に関する意識啓発を図り、転倒災害防止に必要な対策の実施により、職場の安全意識を高め、安心して働ける職場環境を実現することを目的とする取組

安全衛生委員会での調査・審議 職場巡視 意識啓発

転倒しにくい職場をつくるには？

詳しくはこちら →

第三次産業（小売、社会福祉、飲食）働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動

本社・本部と店舗・施設の役割に応じた全社的な安全衛生活動を展開し、労働災害を減少させることを目的

本社・本部: 全社的な災害発生状況の把握・分析, 安全衛生方針の表明, 作業マニュアルの作成, 施設の安全衛生活動の推進, 施設への安全衛生担当者配置

店舗・施設: 4 S (整理, 整頓, 清掃, 清拭), K Y (危険予知) 活動, 危険の「見える化」, 従業員の安全衛生教育

安全・安心な店舗・施設をつくるには？

詳しくはこちら →